

第5回・「陸前高田の未来をつくる対話」プロジェクト ～陸前高田の未来を語る会～

開催レポート

【開催日：2012年4月22日（日）】



赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業

陸前高田創生ふるさと会議

ミラツク 大木浩士

開催概要

■プロジェクト名:「陸前高田の未来をつくる対話」

■開催目的:

- ①「陸前高田にいらっしゃる方々」と「各地で活動されているコミュニティリーダーの方々」が対話を行い、課題や実現したい事柄を共有し、それらを解決・実現するリソースを知るきっかけの場とすること。
- ②陸前高田にいらっしゃる方々に「対話の場」を体験していただき、「自由に話し合える場作りのノウハウ」を知り、学んでいただくこと。(自ら場作りが行えるようになること)
- ③参加者同士のネットワーキング。

■主催:NPO法人・陸前高田創生ふるさと会議

共催:NPO法人・ミラツク

協力:高田自動車学校、中央共同募金会(赤い羽根)、SAVE TAKATA

■開催日時:2012年4月22日(日)13:00~18:00

※今後1ヶ月に1回の頻度で、継続的に開催の予定

■開催場所:竹駒地区コミュニティセンター

※住所:岩手県陸前高田市竹駒町字館44

■参加者:23名

※陸前高田にお住まいの皆さま13名、他の地域からご参加の方々10名。



※この事業は、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」の助成を受け実施しています。

参加者一覧

■陸前高田からの参加者

	氏名		11/12 参加	第1回 参加	第2回 参加	第3回 参加	第4回 参加	所属	備考
1	福田利喜さん	ふくだとしき	○	○	○	○	○	陸前高田創生ふるさと会議・副理事長	主催者
2	三井俊介さん	みついいしゅんすけ						復興支援団体SET(広田地区)	
3	臼井健一さん	うすいけんいち					○	自営業(広田地区)	
4	岡本翔馬さん	おかもとしょうま		○				SAVE TAKATA	
5	平野俊幸さん	ひらのとしゆき			○		○	株式会社ラピス	
6	福田紀雄さん	ふくだとしお		○	○	○		うごく七夕まつり実行委員会・事務局長	
7	須藤幹介さん	すどうみきすけ						米崎地区	
8	千葉巖さん	ちばいわお						高田地区	
9	佐々木道夫さん	ささきみちお						竹駒地区	
10	菅野一郎さん	かんのいちろう						元大工・農業	
11	佐々木栄さん	ささきさかえ						気仙地区	
12	佐藤さん	さとう						小友地区	
13	菅野定さん	かんのさだむ						陸前高田市市議会議員	

■陸前高田以外の参加者

	氏名		11/12 参加	第1回 参加	第2回 参加	第3回 参加	第4回 参加	ミラツク	所属	備考
1	大木浩士	おおきひろし	○	○	○	○	○	ミラツク	博報堂	コーディネーター
2	西村勇也さん	にしむらゆうや	○	○	○	○	○	ミラツク・代表理事	ダイアログBar・代表	ファシリテーター
3	山本真さん	やまもとまこと			○			ミラツク	キープ協会	
4	渡辺亜紀さん	わたなべあき						ミラツク	バランス・グロースLLP	
5	西山隆則さん	にしやまたかのり				○			ロート製薬・復興支援室	
6	山田健太郎さん	やまだけんたろう							カゴメ・復興支援室	
7	原科佑哉さん	はらしなゆうや						ミラツクインターン	iLEAP: The Center for Critical Service	
8	清水健佑さん	しみずけんゆう							慶應義塾大学	
9	城光さん	じょうひかる					○		ジェイブイ、吉工園	
10	藤田さん	ふじた							日本経済新聞社	

自己紹介

参加者全員で車座になり、「お名前」「どちらからいらっしゃったのか」「何をされているのか」について全員で自己紹介を行いました。今回は地元にはいらっしゃる年配層に皆さまにもご参加をいただきました。



■地元の年配層の方々からの自己紹介(ご意見)

「震災前は、定置網の仕事をしていました。被災し、1年間仕事をしていません。復興のためにできることがあれば、やっていきたいと思えます。」

「7年前に退職し、地元に戻ってきました。震災の時は松原にいました。復興のために何かやりたい、との思いから、現在は隣の市の図書館でボランティア活動をしています」

「百姓をしていましたが、すべて流されてしまいました。このような場に集まる人が思ったより少ない。なぜ皆動こうとしないのか・・・」

「高田市民は支援慣れしている。自分達で復興していくことに無関心になっている気がします」

「高田に引っ越してきて4、5年です。家は米崎の高台でしたが、すぐ近くまで水がきました。時間がたつと関心がなくなるのでしょうか。私はもっと高田のことが知りたいですし、できることを探したい」



前回に続き、広田地区から参加された臼井さん(右)と、4月から広田地区に移住した三井さん(左)

お互いを知り合う時間

4人1組になり、お互いをより深く知り合う時間を作りました。「お名前」「今の思い」「本日話してみたいこと」などをテーマに、対話を行いました。



■地元の方々からのお話(抜粋)

◎Aさん

- ・仮設住宅に奥さんと一緒に入っています。元は大工でした。
- ・自分が動くことで周りが動いてくれないかなと思い、現在畑仕事をしています。
- ・高田の人たちは、動きたいんだけど動けない。誰かが動けばついていくことができる、そんな状態ではないかと思っています。
- ・復興が遅い、情報もない。
- ・早く高台移転をして欲しい。できるだけ仮設から早く出られるようにしてほしいです。本来子供たちが遊ぶ場所に住んでいるので、肩身が狭いです。

◎Bさん

- ・陸前高田にはいくつかの地区がありますが、高田地区が他よりも遅れていると思います。
- ・高田地区は、リーダーシップをとれる方が多く亡くなっています。中心になれる人がいないので、どこに情報が集まっているのか分からない状態です。
- ・人に来てもらうためには、交通の整備が必要だと思います。まずは矢作地区までで良いので鉄道を通して欲しいと考えています。
- ・「震災のメモリアル公園」の話がでています。キャピタルホテルを壊すという話も聞きます。何を残し、何を壊すのか、内の人と外の人とでは、思いや考えが異なるのではないかなと思っています。

復興に向けて活動をされている3名の方からのお話

復興に向けて活動をされている、「SAVE TAKATA」の岡本さん、「陸前高田創生ふるさと会議」の福田さん、「復興支援団体SET」の三井さんから、現在取り組んでいることや課題について、お話をいただきました。



■岡本さん

- ・現在、「SAVE TAKATA」の現地代表をしています。
- ・高校まで陸前高田で育ち、その後東京に出ていましたが、昨年の5月に会社を辞め、陸前高田に戻ってきました。
- ・「SAVE TAKATA」は、「陸前高田と陸前高田以外の人たちがつながるような活動しよう」ということでスタートしました。それ以来、コーディネーター的な役割が活動の中心になっています。
- ・また、陸前高田が経済的に自立していくためにはどうすればよいのかについても考えています。新たなビジネスづくりにもチャレンジしています。
- ・陸前高田が復興していくためには、外からの力を頼るだけではなく、陸前高田市民が何とかしないといけないと思います。



■福田さん

- ・「陸前高田創生ふるさと会議」の副理事長をしています。
- ・外の人たち(大学や団体など)と内の人たちをつなぐ活動をしています。
- ・私も、復興のためには市民が自ら立ち上がることが大切だと思っています。しかし、高田に人たちは奥ゆかしくて、なかなか自分から話をしたり行動を起こす人が少ないのが現状です。
- ・地元のコミュニティをどう再生するかも大きな課題です。福田紀雄さんと一緒に、地元の方々が能動的に関われるイベントや仕組みを考えているところです。



■三井さん

- ・出身は筑波です。大学は東京でした。
- ・知人の縁で陸前高田に足を運び、主に広田地区で活動を行っていました。
- ・3月で大学を卒業し、4月より広田地区に移住しました。
- ・この町が限界集落にならないための打開策を考えていきたいと思っています。
- ・具体的には、若い人たちが活躍できる職づくりや外部から人が来るような仕組みづくり・体制づくりに取り組んでいきたいと考えています。

グループに分かれて話し合いを実施

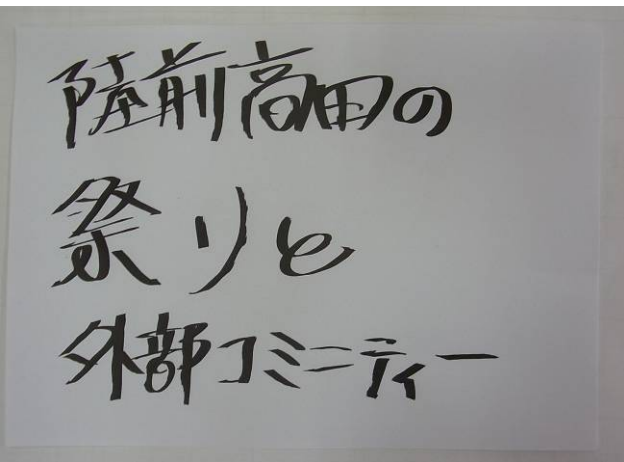
岡本さん、福田さん、三井さんのグループに分かれ、3人が感じている課題を中心に、話し合いを実施しました。

- ・岡本さん・・・「みんな本当はどうしたいのか？本音の意見をどうすれば出してもらえるのか？」
- ・福田さん・・・「どうしたら自分達で関心をもって動いてもらえるのか？」
- ・三井さん・・・「移住者を増やすためにはどうすればいいのか？」

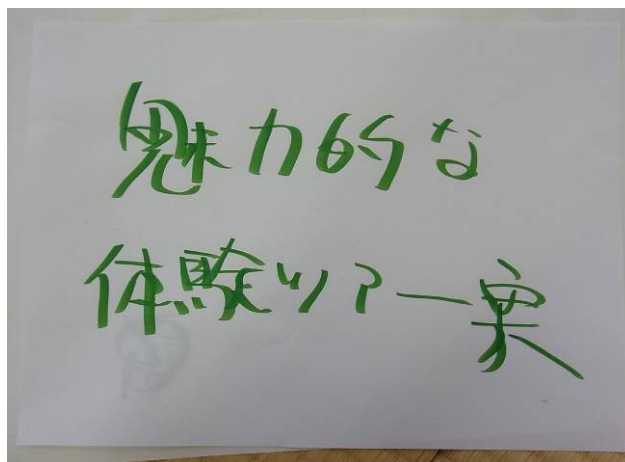


参加者がテーマを出し、話し合いを実施

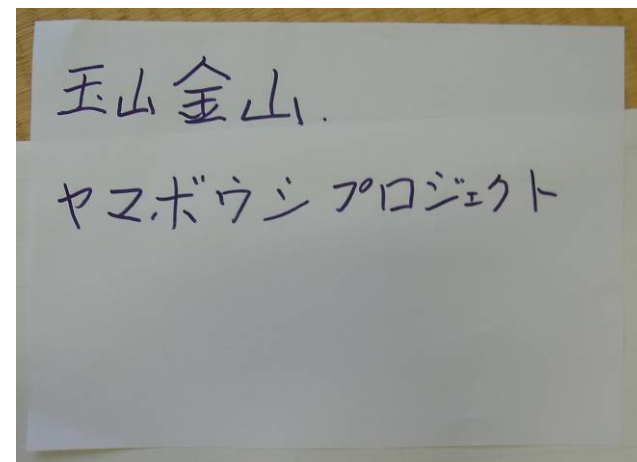
参加者から具体的なテーマを出していただき、話し合いを実施しました。(下記の5つのテーマが出されました)



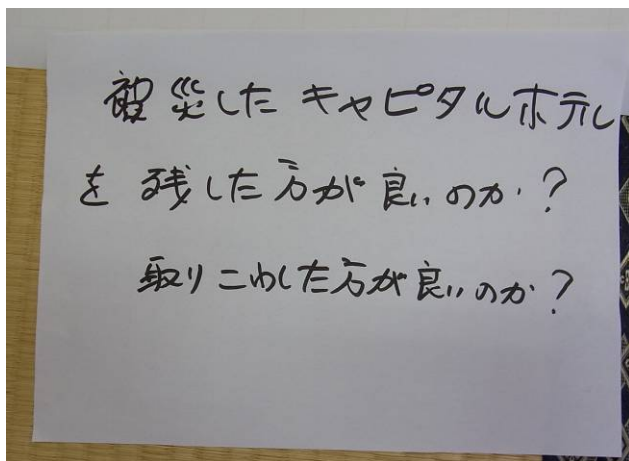
うごく七夕まつり実行委員会
福田紀雄さんより



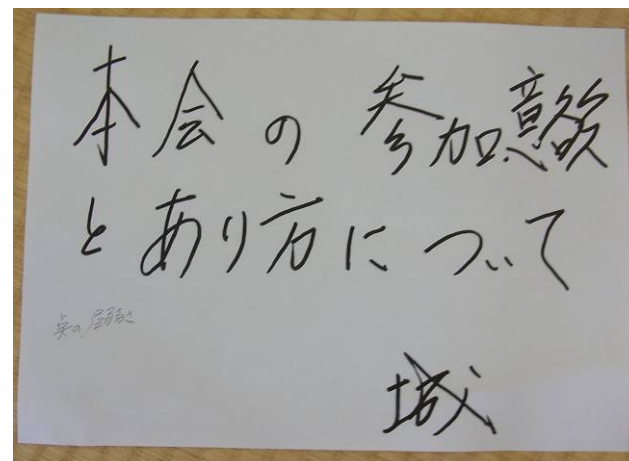
ミラック
大木浩士より



陸前高田
佐々木道夫さんより



陸前高田市議会議員
菅野定さんより



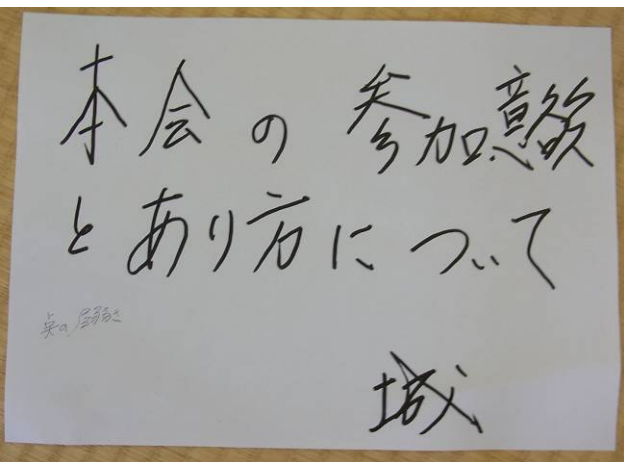
ジェイブイ
城光さんより

参加者がテーマを出し、話し合いを実施

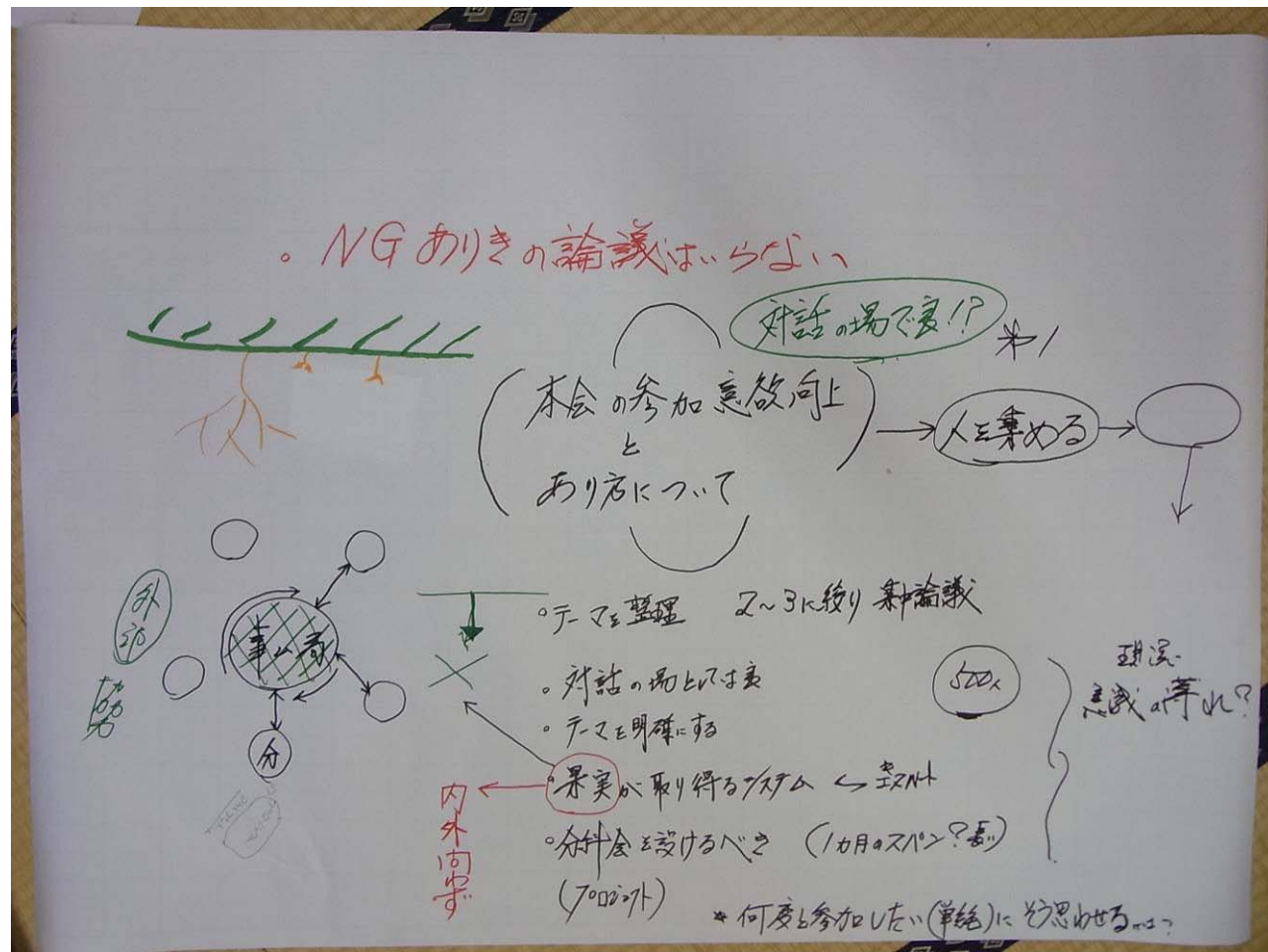
各テーマについて3～4名のグループをつくり、情報やアイデアを共有する話し合いを行いました。



話し合いの内容を共有



ジェイブイ
城光さんより



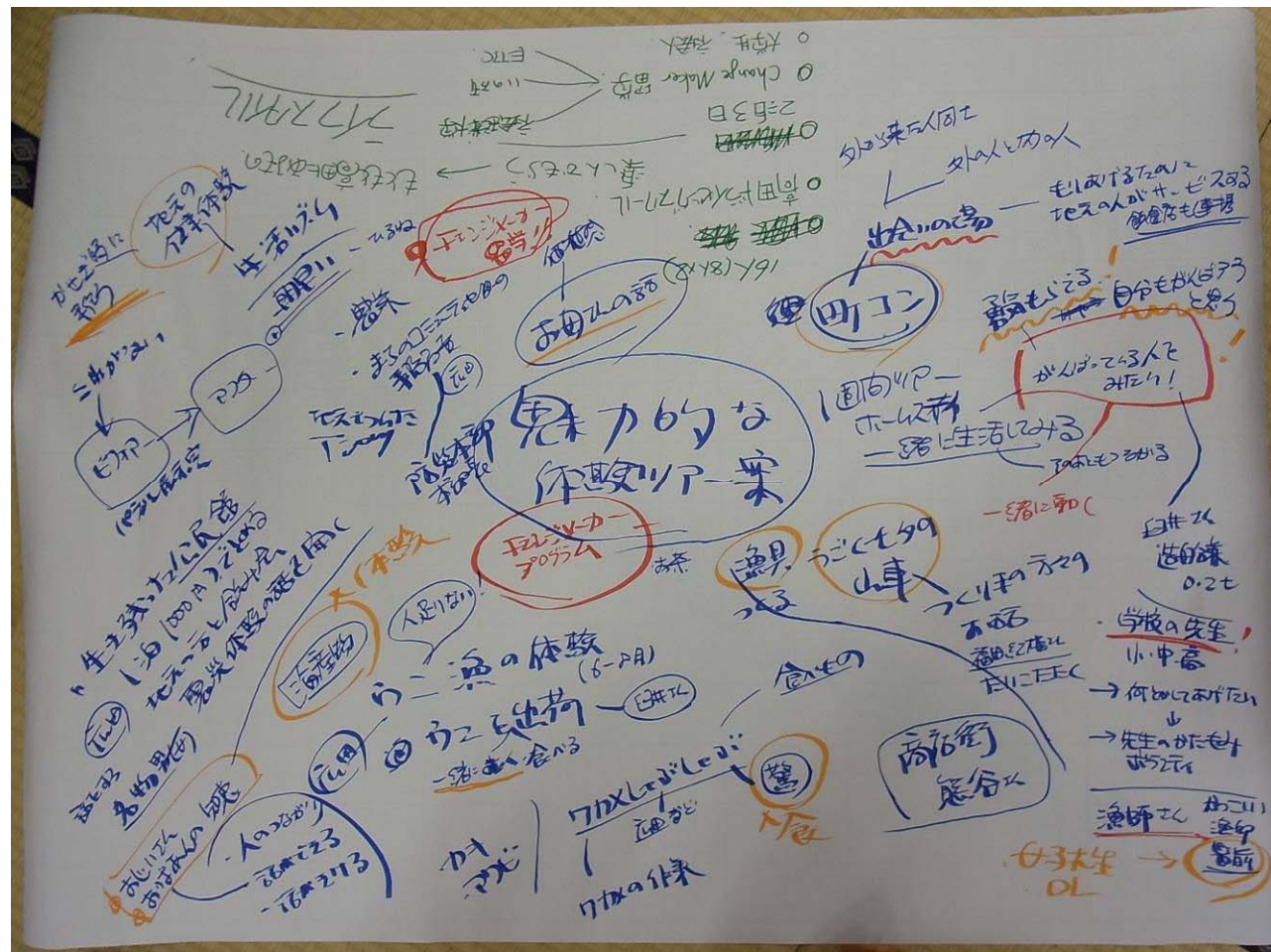
- ・この会合を今後どのようにしていったらよいか、話し合いました。いろいろな意見が出ましたが、今回のような「相互対話の場」というものが実は必要なのではないか、との思いにたどり着きました。
- ・「具体的な成果を生み出す場にしたい」という意見も出ましたが、そのようなプロジェクトは自然発生的でよいように思います。実際、前回の話し合いの中で出された「ユーストリーム企画」は、昨日、発案者や地元の方が中心となり実施をされました。
- ・「果実がないと人が集まらない」との話も出ましたが、私は「地元を中心に、様々な立場の方が集まり、数時間話することそのものが果実である」印象を受けました。
- ・また、この場の事務局的な機能は、できるだけ地元の方に移していった方がよいようにも感じました。

話し合いの内容を共有

魅力的な 体験ツアー案

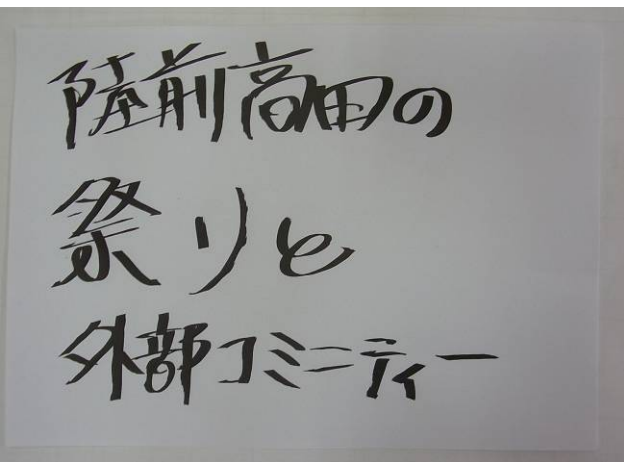


ミラツク
大木浩士より

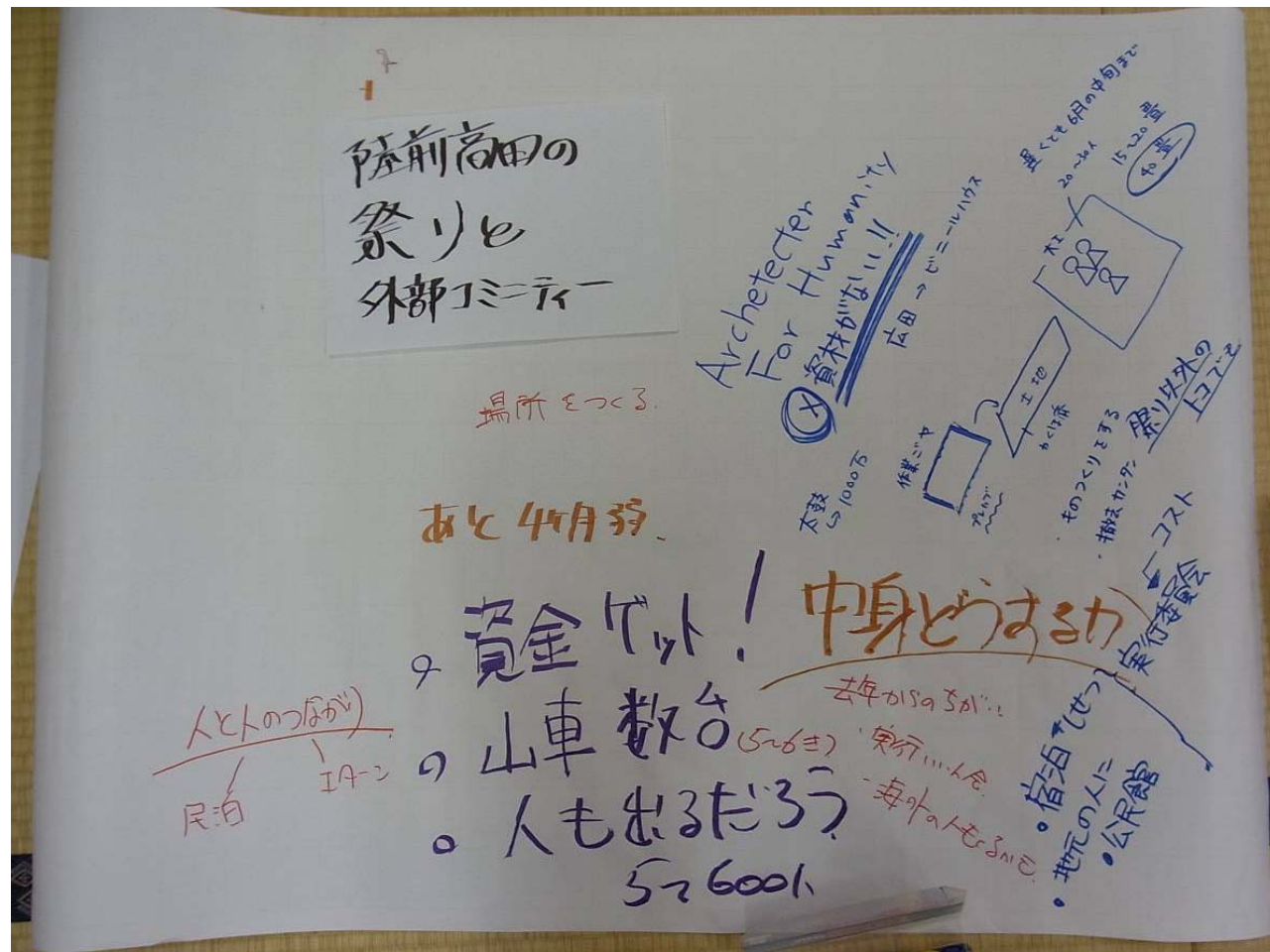


- ・陸前高田に人を連れてこれるような、魅力的な体験ツアーが組みたいと思い、話し合いを行いました。
- ・誰を連れてくるのが大切で、結論は社会などを変えていきたいと考えている「チェンジメーカー」がよいとの話になりました。
- ・具体的には、2泊3日のプログラムで、参加人数は15名前後が適当です。
- ・地元でがんばっている人との対話の場をつくり、その方々のお仕事を手伝う時間も作りたいと思います。
- ・対話や体験を通して、勇気や知恵をもらう場、そんなツアーを目指したいと思います。
- ・このような取り組みを、できればビジネスとして成り立たせるような、そんな問題意識で前に進めたいと思います 11

話し合いの内容を共有



うごく七夕まつり実行委員会
福田紀雄さんより



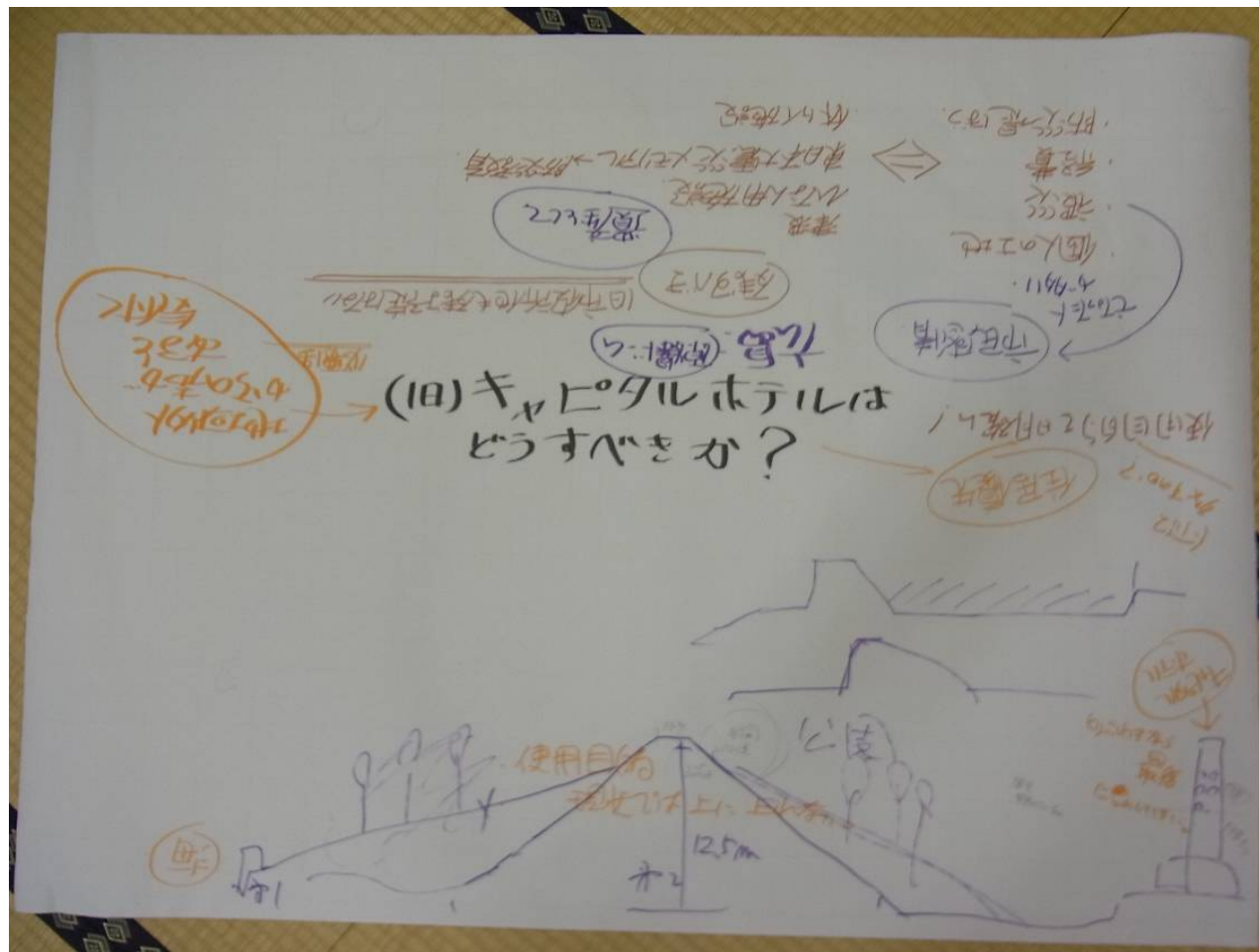
- ・外の人とのつながりをどのように作り、広げていけばよいのかについて話をしました。
 - ・人が集まれる場(建物)をいかに作るかが、大きな課題の一つです。宿泊できる建物も足りません。資金的に陸前高田だけで難しく、いかに協力者(企業など)とつながっていけるかも課題です。
 - ・また、人に来てもらうための魅力的な中身づくりも考えなくてははいけません。
- まずは有志の方々とつながり、そのご縁をきっかけに、人と人とのつながりを広げていくことが大切だと思いますし、情報発信の仕組みづくりを進めることも必要なことだと思います。

話し合いの内容を共有

被災したキャピタルホテルを
を残した方が良いか？
取り壊した方が良いか？



陸前高田市議会議員
菅野定さんより



- ・キャピタルホテルを壊すのか残すのか、そんなテーマで話し合いを行いました。
- ・残す場合、使用目的を明確にすることが大切だと感じました。例えば津波の避難場所にするとも考えられます。
- ・もし残すなら利用方法を明確にすること。もし取り壊すなら、シンボリックな建物でもありますので、最後に取り壊して欲しい、そんなまとめになりました。

本日対話の場に参加した感想などを共有

最後に全員で車座になり、本日の対話に参加した感想などを共有しました。



■共有された感想の一部

「今回はじめて参加して、びっくりしました。このような場に地元の人たちがもっと参加し、声を出すべきだと思いました。参加者数をもっと増やしたい。そして1人1人が前に向かって進むべきだと、あらためて思いました。」

「このやり方はいいな、と思いました。いろんな方と話し、考えたことを書き出し、まとめていく。新しいと思いました。私自身も磨かせてもらったと思います。外部から、何とかしたいとの思いで来てくれた皆さん、ありがとうございました。」

「これまでずっと参加してきましたが、今までにいろんな方がこの場に來ました。1回でも2回でも、この場に参加し体験してもらえればと思います。自分でも「場」を作っていきたい、そんなことも考えています。」

「この会のとりまとめを行う方を地元で探していきたいです」(福田さん、大木より)

「この会の進行役も、できれば少しずつ地元の方と一緒にやっていければと考えています」(西村さんより)

次回以降の開催日程

■次回

○日時・・・5月27日(日)13:00～18:00ごろ

○場所・・・広田地区(会場は未定)

■次々回

○日時・・・7月8日(日)13:00～18:00ごろ

○場所・・・広田地区または竹駒地区

お忙しい中とは存じますが、ご参加 お声がけのほど、よろしくお願い申し上げます！

「陸前高田の未来を語る会」の開催前に 行った取り組みのご紹介

◎陸前高田ユーストリーム企画 〈4／21(土)20:00～21:20〉

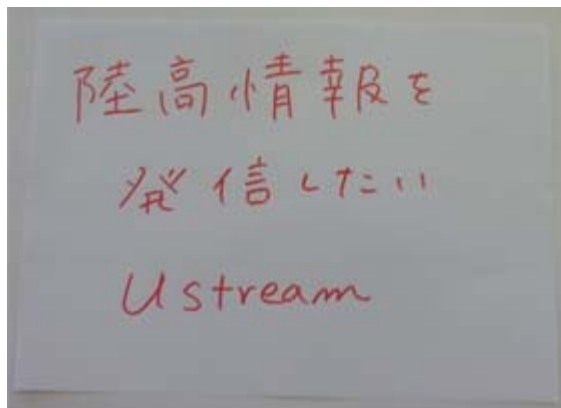
◎陸前高田市・久保田副市長との面談 〈4／22(日)9:30～10:30〉

◎SAVE TAKATA・岡本さんとの面談 〈4／22(日)10:45～11:45〉

◎陸前高田ユーストリーム企画

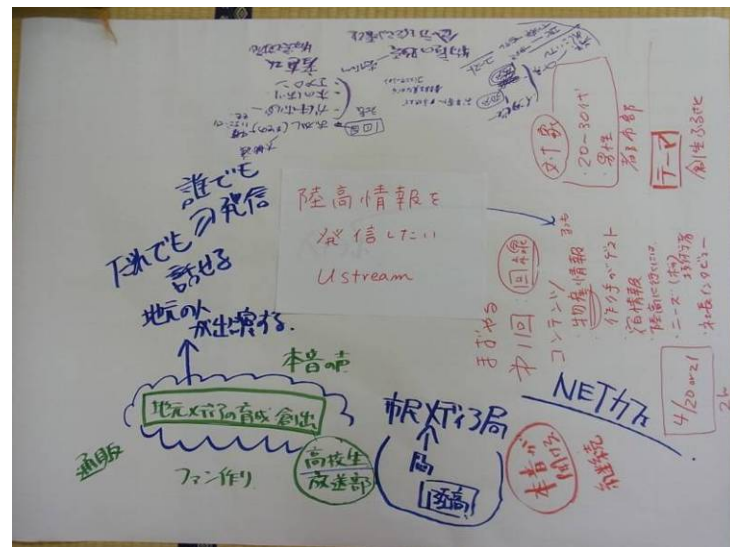
「第4回・陸前高田の未来をつくる対話」にて、参加者・大矢中子さんより、ユーストリーム企画の提案がありました。

第4回の開催
レポートより



■被災地をメディアでつなぐプロジェクト笑顔3.11・大矢さん

- ・「陸前高田創生ふるさとTV」を作っていきたいと考えています。陸前高田の市民TV局で、地元の方が自分達で情報を発信できるメディアです。
- ・具体的には「ユーストリーム(WEBを使った動画共有サービス)」を使いたいと思います。
- ・メインターゲット(視聴者)は、ユーストリームユーザーである都市部にすむ20代～30代男性をイメージしています。
- ・課題は光回線が使える場所探しですが、ネットカフェがよいかも知れないとの情報をいただきました。
- ・継続させるスキーム(体制)づくりも課題です。最初の1回は私が実施しようと考えていますが、できれば地元の方に継続的に取り組んでいただければと考えています。
- ・告知や連携について、地元新聞社の東海新報社さんにご相談してみてもよいかも知れません。
- ・第一回目の配信日は、4月20日か21日を予定しています。
- ・情報発信のテーマは、「陸前高田の物産紹介(かもめ?)」「陸前高田の社長紹介」「陸前高田の歩き方(行き方、宿紹介)」などを考えています。



◎陸前高田ユーストリーム企画

この企画の「トライアル版」として、2012年4月21日(土)20:00～21:20に、「rikutakaTV」のユーストリーム配信が行われました。

<http://www.ustream.tv/channel/rikutaka>

■2012年4月21日(土)20:00～21:20

■配信場所:大船渡市・湯や処「松原」2階

■出演

- ・さいとう製菓 代表取締役社長 斉藤様
- ・陸前高田創生ふるさと会議 副理事長 福田様
- ・SAVE TAKATA 現地代表 岡本様
- ・復興支援団体SET 現地代表 三井様
- ・MC:大矢中子様



岩手三陸の銘菓「かもめの玉子」



「かもめの玉子」の工場



斉藤社長

◎陸前高田ユーストリーム企画



陸前高田創生ふるさと会議 福田さん



陸前高田の現在の様子・状況を紹介



中華食堂「熊谷」の坦々麺。絶品！



震災後にUターンされた、
SAVE TAKATA 岡本さん

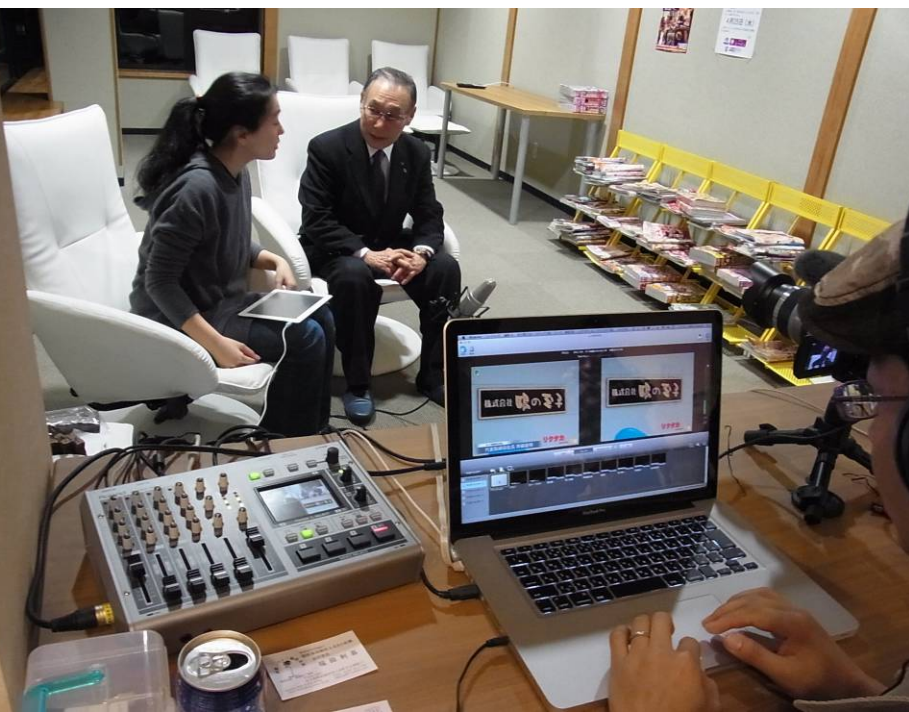


陸前高田「未来商店街」



大学卒業後、陸前高田に移住を決めた三井さん

◎陸前高田ユーストリーム企画



◎SAVE TAKATA 岡本さんとの面談

一般社団法人「SAVE TAKATA」の事務所にうかがい、「陸前高田の未来をつくる対話」にも参加していただいた、現地代表の岡本さんと情報交換を行いました。

